



# 菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

## 菊川市気候変動適応計画【概要版】

令和6年3月発行

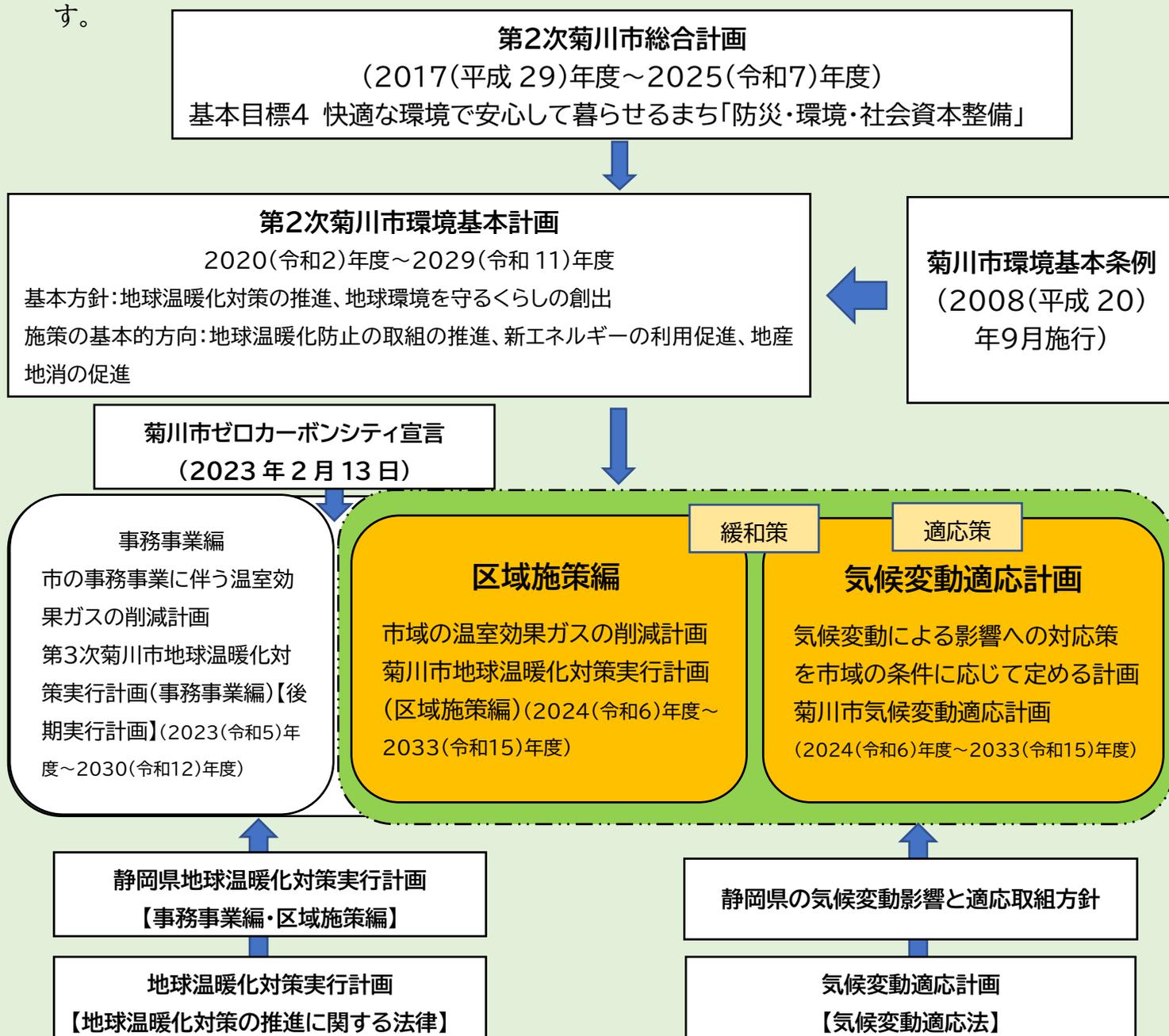
【目標年度:2030(令和12)年度（基準年度:2013(平成25)年度）】

### 1 計画の基本的事項 (1)計画の目的

近年の地球温暖化対策を巡る国内外の動向に、市の自然的社会的条件に応じて対応するため、国の「地球温暖化対策計画」(2016年(平成28年)閣議決定)と「気候変動適応計画」(2018年(平成30年)閣議決定)に即し、温室効果ガスの排出抑制や、気候変動による様々な影響に対応するための総合的かつ計画的な施策として策定するものです。

### 1 計画の基本的事項 (2)計画の位置づけ

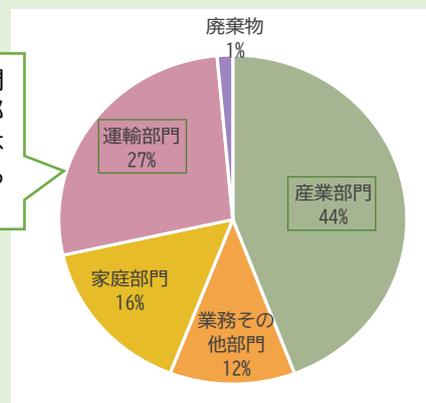
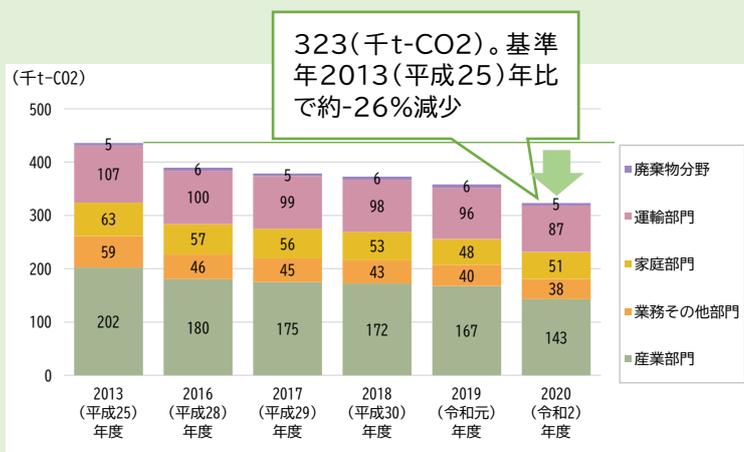
本計画は、「第2次菊川市総合計画」と「菊川市環境基本条例」の下に策定されている「第2次菊川市環境基本計画」の地球温暖化対策に関する内容を具体化するための計画として位置づけられています。





## 4 菊川市の温室効果ガス排出量

本市の最新の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量は323(千t-CO<sub>2</sub>)となっています。基準年度である2013(平成25)年度をピークに、減少傾向にあります。内訳は、製造業などの産業部門からの排出量が最も多く44%、次いで自動車などの運輸部門が27%となっています。



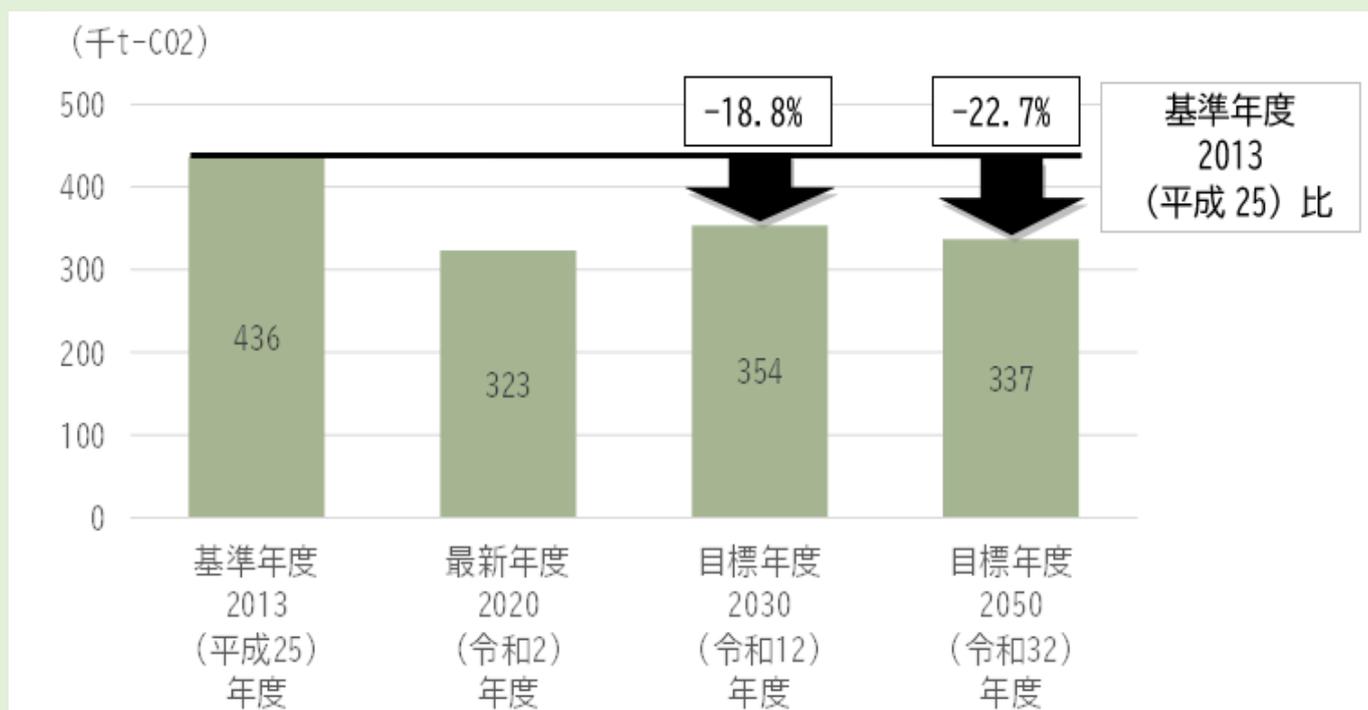
部門別・分野別温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の経年変化

(資料:自治体排出量カルテ(環境省))

2020(令和2)年度  
温室効果ガス排出量構成比  
(資料:自治体排出量カルテ(環境省))

## 6 将来推計(現状趨勢)

追加的な温暖化対策を見込まないまま推移した場合の温室効果ガス排出量の推計です。2020(令和2)年度は、新型コロナウイルスによる経済活動停滞の影響を受けていることから、今後の温室効果ガス排出量は、経済活動の再開により横ばいまたは増加傾向となることが見込まれます。





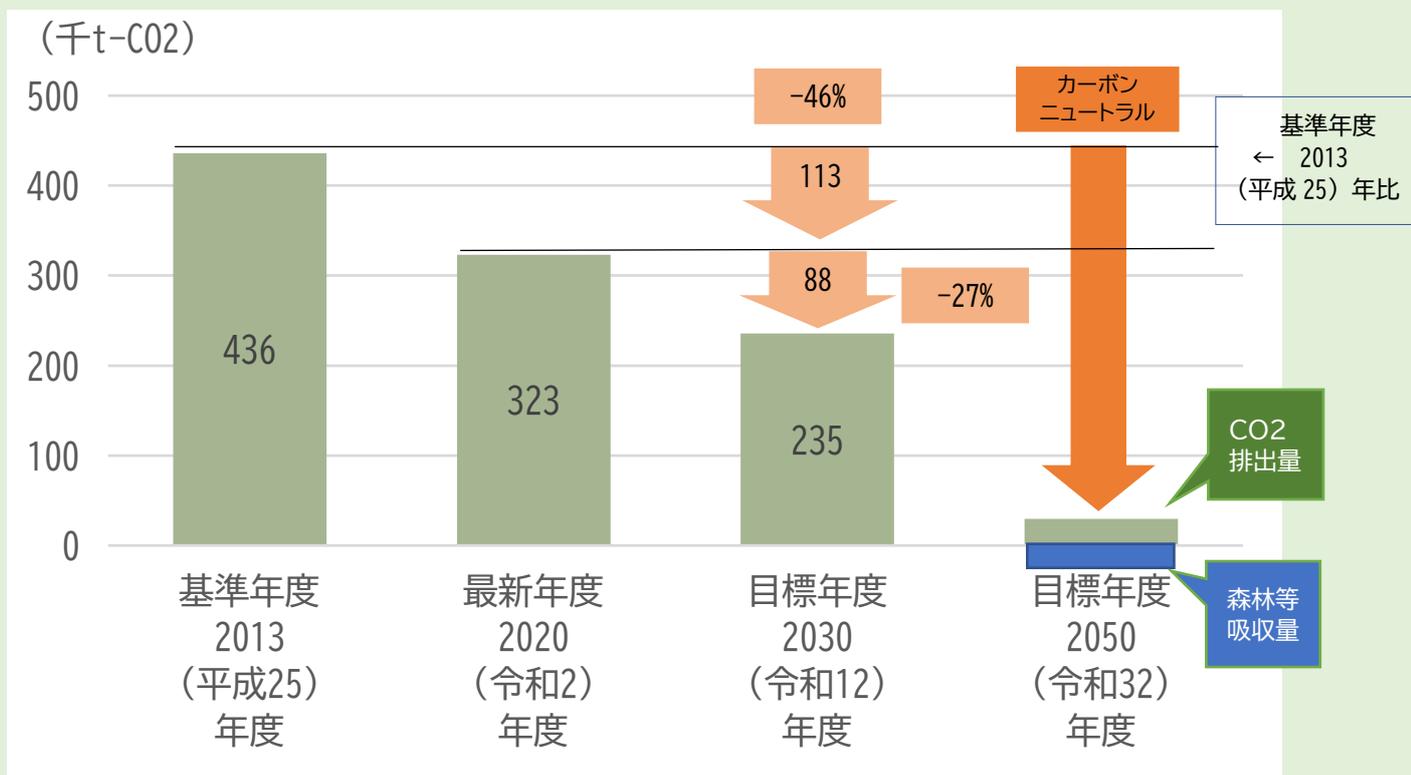
## 7 温室効果ガス排出削減目標

2020(令和2)年10月26日、菅首相は所信表明演説において、2050(令和32)年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量を等しくすることで、実質的な排出量をゼロにすること)、脱炭素社会を目指すことを宣言しました。更に2021(令和3)年4月22日には、2030(令和12)年度の温室効果ガスの削減目標を2013(平成25)年度比46%削減とし、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。

そこで、本市においても国の目標に準拠し、同様の目標を掲げることとします。

(中期目標)  
2030(令和12)年度に、基準年度(2013(平成25)年度)比で46%削減することとし、さらなる高みを目指します

(長期目標)  
2050(令和32)年度カーボンニュートラル  
※カーボンニュートラルとは・・・温室効果ガスの排出量と吸収量を差引ゼロにすること





## 9 地球温暖化対策に関する取組

地球温暖化対策は、大きく分けて「緩和」と「適応」に大別され、緩和は地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制することです。これに対し適応はすでに起こりつつある、または起こりうる気候変動の影響に対処することで、気候変動の影響による被害を回避・軽減することです。地球温暖化対策の推進に当たっては、温室効果ガスの排出抑制である緩和とともに気候変動の影響に対する適応を進めていく必要があります。

### 2つの気候変動対策

#### 緩和とは？

原因を少なく

**緩和策の例**

- 節電・省エネ (Lightbulb icon)
- エコカーの普及 (Bicycle and Car icons)
- 再生可能エネルギーの活用 (Solar panel and Wind turbine icons)
- 森林を増やす (Tree icon)

温室効果ガスを減らす (CO2 cloud icon)

#### 適応とは？

影響に備える

**適応策の例**

- 感染症予防のため虫刺されに注意 (Mosquito icon)
- 熱中症予防 (Sun and Hat icons)
- 災害に備える (Dam and House icons)
- 水利用の工夫 (Water tap icon)
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (Fruit and Plant icons)

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

### 緩和と適応

(資料:気候変動適応情報プラットフォーム HP

([https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate\\_change\\_adapt/staff-interview.html](https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/staff-interview.html))

### 市民、事業者に期待される緩和策(本編より一部抜粋)

#### 緩和策

- ・静岡県地球温暖化対策アプリ「クルポ」を利用し、脱炭素につながる行動をします。
- ・グリーンカーテンの活用や、冷暖房の温度を適切な設定で運用するなど、省エネルギー対策に取り組めます。
- ・エネルギー効率の高い家電製品の購入・使用に努めます。
- ・出前行政講座やアースキッズ事業などを通じて、地球温暖化を防止するライフスタイルの転換に取り組めます。
- ・自動車を運転する際は、急加速・急減速等をしないエコドライブに努めます。
- ・ハイブリッド自動車や電気自動車、燃料電池車などの導入に努めます。
- ・4Rを徹底し、焼却ごみに混入するプラスチック資源を削減するよう努めます。
- ・食品ロス削減のため、消費しきれない食品はフードバンクや福祉施設に寄付するフードドライブに協力します。
- ・事業所における環境マネジメントシステムの導入に努めます。



## 10 緩和策 (3)本市の具体的な取組

地球温暖化防止のため、緩和策について、本市の具体的な取り組みの一例をご紹介します。

### ①再生可能エネルギーの利用促進

- ・県の太陽光、蓄電池の共同購入支援事業への参画
- ・エネルギーの地産地消の推進
- ・再生可能エネルギー100% (RE100)電気の導入拡大



### ②省エネ活動促進

- ・省エネ家電製品への買い替え支援
- ・鈴与商事㈱と提携し、新たな環境教育を実施
- ・市内企業と連携し、温室効果ガス排出量の「見える化」を促進



### ③地域環境の整備・吸収源対策

- ・バイオ炭など二酸化炭素の吸収源対策と荒廃農地の解消
- ・カーボンクレジット、カーボンオフセットの活用
- ・再配達削減の推進によるCO2削減

減



### ④循環型社会の形成

- ・メタン発酵消化液など未利用資源の活用
- ・ごみの減量化
- ・食品残渣をバイオガス発電の燃料としてリサイクル





# 10 緩和策 (5)重点取組事項

本市独自の取組の一例をご紹介します。重点取組事項については下記のように、1 ペーパーで本編に掲載しています。

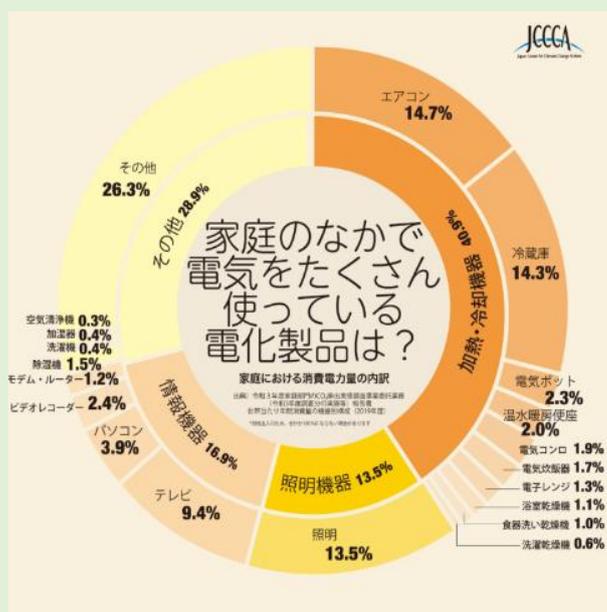
## 5 省エネ家電への買い替えでCO2を減らしましょう

取組主体		
市	市民	事業所
	○	

家庭の中で電気をたくさん使っている電化製品は「エアコン」、「冷蔵庫」、「照明」、「テレビ」の4品目で、家庭全体の消費電力の4割～5割になるほどです。

省エネ家電に買い替えると、省エネ効果は10年前のエアコンで-10%、10年前の冷蔵庫で-46%、電球からLEDで-86%、10年前のテレビで-29%になると言われています。

菊川市では令和5年度、省エネ性能の高い家電製品へ買い替えた方に補助金を給付しました(令和6年度以降は未定。)



出典:全国地球温暖化防止活動センター

省エネ性能が高いほど、初期費用は嵩みますが、電気代などのランニングコストは抑えられます。省エネ家電への買い替えで地球温暖化対策を始めてみませんか？

### 省エネ性能

★★★★☆
4.4

省エネ基準達成率 固有エネルギー消費効率

131% 131.0 lm/W

メーカー名

機種名

この製品を1年間(1日に5.5時間)使用した場合の目安電気料金

## 1,240 円

目安電気料金は使用時間の外にも使用条件や電力会社等により異なります。使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

LTE-R0211

新しいラベルのポイントは主に3つ

**ポイント 1 多段階評価点**  
市場における製品の省エネ性能を高い順に5.0～1.0までの41段階で表示します。

**ポイント 2 省エネルギーラベル**  
トップランナー制度における、機器区分ごとに定められた省エネ基準をどの程度達成しているかを表示します。

**ポイント 3 年間目安エネルギー料金**  
当該製品を1年間使用した場合の経済性を、年間目安エネルギー料金で表示します。  
※年間目安エネルギー料金は、年間の目安電気料金、目安ガス料金または目安灯油料金を指します。

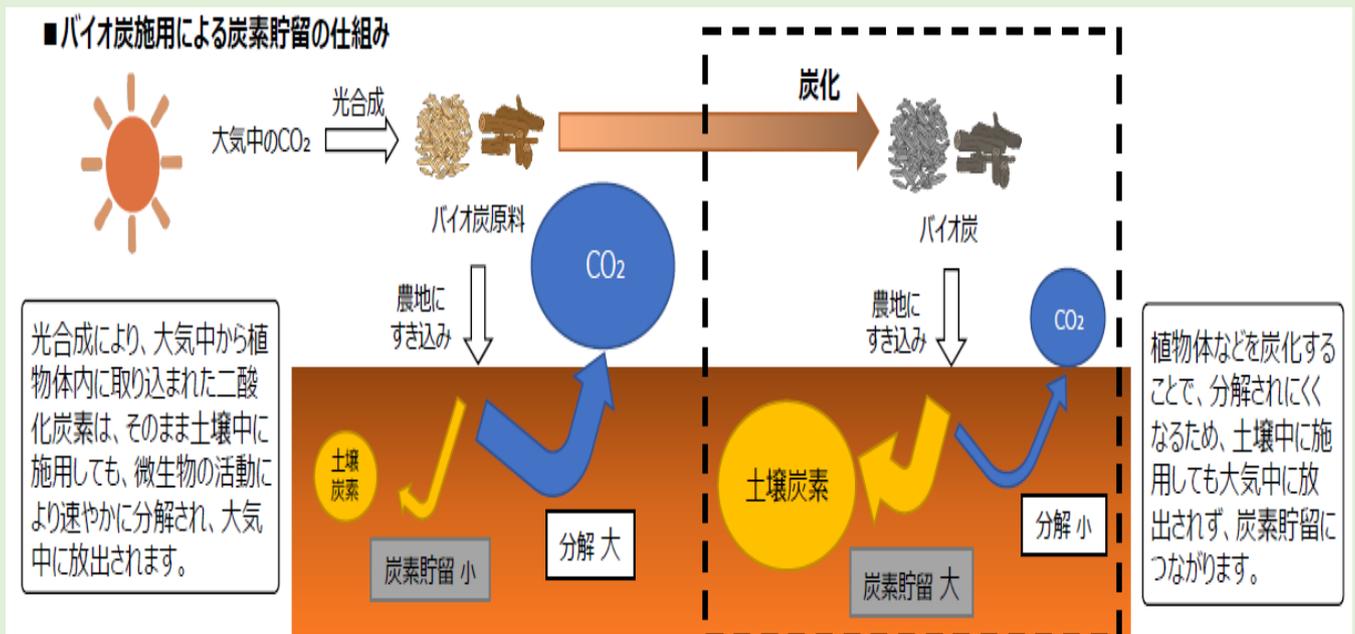
出典:経済産業省資源エネルギー庁



# 7 炭素貯留に取り組みます

取組主体		
市	市民	事業所
○	○	○

菊川市は、地球温暖化対策の一環として、農地土壌の吸収源対策に取り組みます。茶業、農業が盛んな本市の特性を活かし、炭素貯留技術を活用した持続可能な農業の実現を目指します。



出典：農林水産省「バイオ炭をめぐる事情」

近年、地域の未利用資源(バイオマス)を発電や肥料の原料とする取組が広がっています。地域の環境整備や、環境に配慮した農産物を購入することを通じて消費者も地域温暖化対策に貢献できるメリットがあります。

### 期待できる効果

- ・市域の二酸化炭素排出量の削減
- ・農地の土壌改良効果、農産物の付加価値向上
- ・荒廃農地の解消
- ・地域の未利用資源の活用(循環型社会の形成)など

菊川市役所環境推進課





# 9 ゼロカーボンシティ実現に向けた新たな組織の立上げ

取組主体		
市	市民	事業所
○	○	○

菊川市の自然的、社会的条件に即した地球温暖化対策を推し進めるため、令和7年度に、市・市民・事業所からなる新たな組織の立ち上げを目指します。

それぞれが意見を交換し、協力関係を築き、菊川市域の温室効果ガス排出量を令和12(2030)年度 46%減、令和 32(2050)年度実質ゼロにすることを目指して、より市域の実情に即した取組について協議をしていきます。



令和5年2月に菊川市は「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。



菊川市役所環境推進課



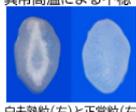
# 11 適応策

適応策は、「農業・林業・水産業」、「自然災害・沿岸域」、「健康」、「国民生活・都市生活」など7つの分野について、科学的知見に基づく専門家判断により、「重大性」「緊急性」「確信度」の3つについて対応が必要であると評価されものや、本市の地域特性を踏まえて対応すべきものを選定し、適応のための取組を検討・実施していきます。

分野別影響評価(本編より一部抜粋:■は国選定、◆は市選定)

分野	大項目	小項目	重大性	緊急性	確信度	選定
農業・林業・水産業	農業	水稻	●	●	●	■
		野菜等	◆	●	▲	◆
		果樹	●	●	●	■
		お茶	●	▲	▲	◆
		畜産	●	●	▲	
		病虫害・雑草等	●	●	●	■
		農業生産基盤	●	●	●	■
		食料需給	◆	▲	●	
	林業	木材生産(人工林等)	●	●	▲	
		特用林産物(きのこ類等)	●	●	●	
	水産業	回遊性魚介類(魚類等の生態)	●	●	▲	
		増養殖業	●	●	▲	
		沿岸域・内水面漁場環境等	●	●	▲	
水環境・水資源	水環境	湖沼・ダム湖	◆	▲	▲	
		河川	◆	▲	■	
		沿岸域及び閉鎖性海域	◆	▲	▲	
	水資源	水供給(地表水)	●	●	●	■
		水供給(地下水)	●	▲	▲	◆
水需要	◆	▲	▲			
自然生態系	陸域生態系	高山・亜高山帯	●	●	▲	
		自然林・二次林	◆	●	●	
		里地・里山生態系	◆	●	■	

## 本市の適応策(本編より一部抜粋)

項目	影響の現状	将来予測される影響	適応策	担当課
共通			<情報提供> ・農業全般において、高温少雨・台風など気象災害が発生する恐れがある場合に、JA など農業関連機関とともに対応技術の広報を行う。	農林課
水稻	白未熟粒・胴割粒発生、一等米比率低下、異常高温による不稔  白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面。 (資料:平成 27 年地球温暖化影響調査レポート(農林水産省))	一般的に 3℃までの気温上昇で収量増加、それ以上で減収。一等米比率低下	<耐性品種の普及> ・高温耐性品種の普及を図る。	農林課
野菜等・果樹	露地野菜・果樹の生育や収量、品質への影響など花さの高温障害		施設野菜・露地野菜・果樹・花さ: 収量、品質の低下	農林課
お茶	夏季の異常高温・少雨により、干ばつによる落葉・葉枯れ・枝枯れなどの特異な現象	夏季の干ばつが翌年一番茶に及ぼす影響は不明だが、気温上昇に伴い、茶芽の生育、一番茶の萌芽期・摘採期の早まりが予想される	<耐性品種の普及> 高収益作物の導入や高温耐性品種の普及を推進する。 <農業技術・機器> 施設野菜や施設花さの収量や品質を高めるため、温度、湿度、二酸化炭素濃度を管理・制御する高度環境制御機器の導入を推進する。 <技術の普及> ・気候変動リスクに対応して、春季の遅霜対策として防霜技術の普及や、夏季の異常高温、干ばつ対策としてかん水技術の普及を行う。 ・萌芽期・摘採期が早まることにより遅霜被害を受ける確率が高くなるため、これまでよりも早めの遅霜対策を行う。	農林課 茶業振興課 茶業振興課

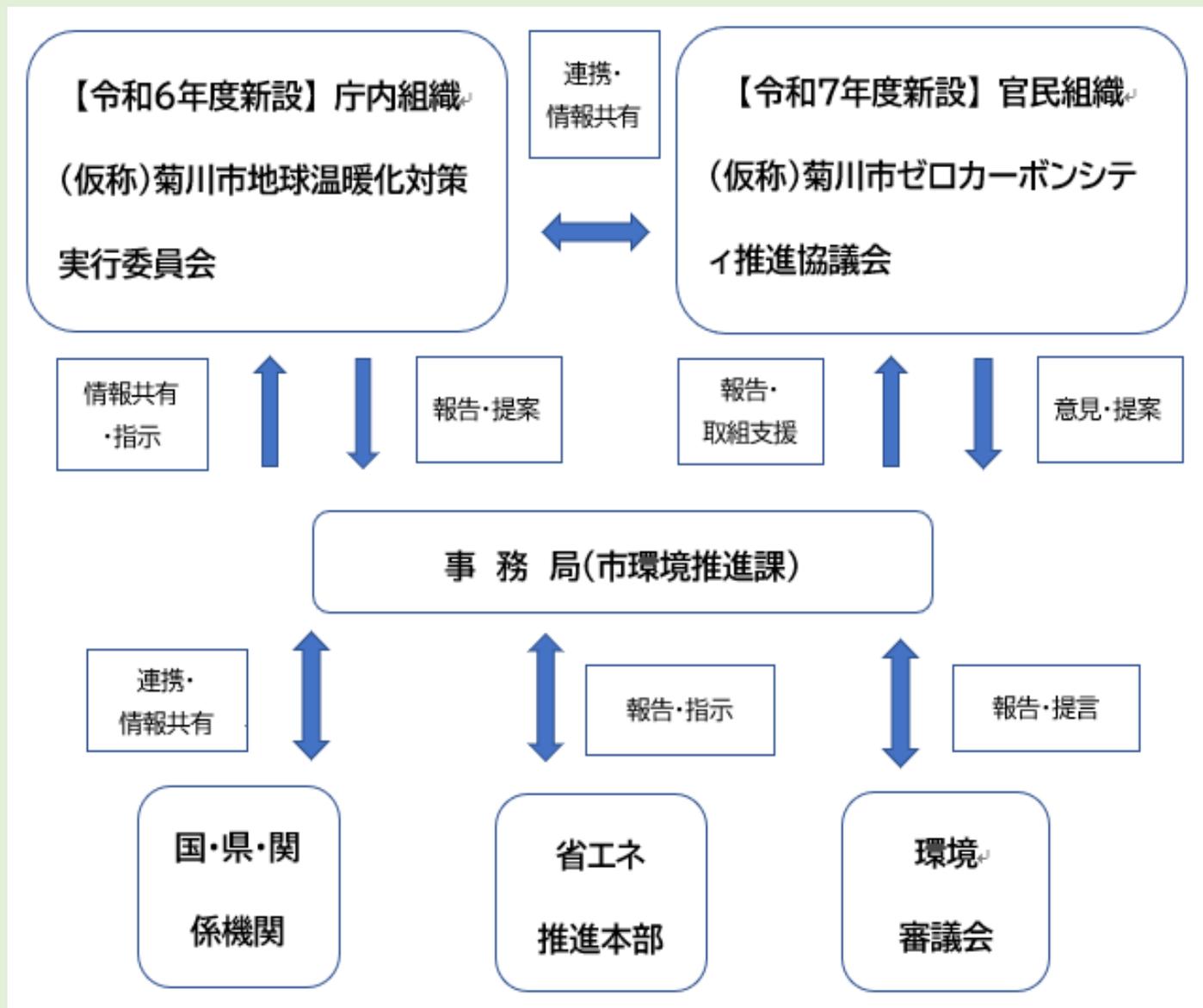
## 市民、事業者に期待される適応策(本編より一部抜粋)

適 応 策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動適応への関心を深めるため、市、企業などが主催する適応策に関するセミナーなどへ参加します。</li> <li>・屋外活動時には国などが発信する熱中症注意情報を確認します。</li> <li>・平常時からハザードマップ・避難経路の確認、避難訓練への参加、水・食料など備蓄の強化に努めます。</li> <li>・暑熱環境下の熱中症対策(温度センサー・警報の設置、休憩場所の設置、定期的な休憩・水分補給の徹底など)</li> <li>・デング熱などを媒介する蚊の繁殖抑制のため、虫除けスプレーの使用、蚊の繁殖環境を作らないよう努めます。</li> <li>・気象環境に依存しない自動管理型栽培システムや災害の発生予測などの暑熱対策技術の開発に努めます。</li> <li>・高温耐性品種の育成、遮熱塗装・遮熱材など暑熱対応製品の開発に努めます。</li> </ul>



## 12 計画の推進体制と進行管理

本計画の推進体制と進行管理です。新たに設置する庁内、官民組織において具体的な取組の推進と計画の進捗管理を行います。既存の庁内組織である省エネ推進本部、外部委員を含む組織である環境審議会への報告や、提言をいただきながら、国・県と連携、情報共有し計画を推進します。



菊川市生活環境部環境推進課  
〒439-8650 静岡県菊川市堀之内 61 番地  
TEL:0537-35-0916 FAX:0537-35-0981